「赤旗」宣伝スポット

２０２６年１１月

こんにちは。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」のお勧めにまいりました。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※「しんぶん赤旗」日刊紙は、１カ月３４９７円。週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９９０円です。日刊、日曜版とも、スマホで読める電子版もあります。スクープ連発、政治を動かす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●物価高がとまりません。高市政権は、食料品の消費税を２年だけ１％にするといいますが、確実なのは２年後の大増税だけです。物価対策というなら、消費税はすべて５パーセントにすべきです。不公平税制を正せば財源を確保できます。「しんぶん赤旗」をぜひ、お読みください。

●自民、維新、国民民主の議員定数削減案は、国民の多様な声を切り捨てるものです。国会で政権与党の思い通りに政治を進め、社会保障切り捨て、異常な軍備増強、憲法改悪をねらっています。民主主義を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●ＡＩの利用が広がる一方で、人間がコントロールできなくなる重大なリスクも明らかになっています。ＡＩを人間の制御にもとに置き、軍事利用を禁止するなど、国際的なルール、規制のしくみが必要です。「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●アメリカの中間選挙で、ＤＳＡ・民主的社会主義者の候補者が上院、下院などで相次いで当選。世界ではいま、政治や社会を変えようとする新しい動きが広がっています。世界の変化と人々の運動を伝える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●国際刑事裁判所の所長は、日本が送った赤根智子さん。トランプ政権が赤根所長を制裁の対象にするのは、「法の支配」を崩す無法なものです。日本政府は、制裁

の撤回を求めるべきです。国際法の道理に立って報道する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●高市内閣が、米国産ジャガイモの輸入全面解禁に動いています。農作物の病気や害虫、残留農薬の危険に加え、国内農業への打撃にもなる、アメリカいいなりの輸入解禁は許せません。日本の農業を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひお読みください。

※繰り返し

●核兵器禁止条約は、国連加盟国の半数以上が参加するまでに広がっています。日本政府は、ただちに核兵器禁止条約に加わるべきです。核兵器禁止条約再検討会議に、日本共産党から田村委員長も参加。核兵器廃絶に力を尽くしています。核兵器廃絶をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●いま、大株主と大企業は史上空前の大もうけをあげているのに、法人税減税の大盤振る舞いなど、優遇されています。不公平な仕組みを変えれば、消費税減税や社会保障、教育の予算も確保できます。「富の一極集中」にズバリ切り込む「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●家賃が高く、住宅ローンの金利も上がっています。日本共産党は「住まいは人権」の立場で家賃補助、家賃減税の創設、公営住宅の抜本的充実を求めています。誰もが安心して暮らせる社会へ、「しんぶん赤旗」をぜひ、お読みください。

※繰り返し

●囲碁・将棋の新人王戦は、プロ棋士の登竜門として注目されています。囲碁の芝野虎丸名人、将棋の藤井聡太竜王・名人も新人王経験者です。新人王戦を主催する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本共産党が目指す共産主義は、「人間の自由をあらゆる意味で豊かに保障し開花させること」を、「最大の特徴・目的」にしています。それを明記した綱領改定案をいま全国で討論しています。日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し